

カテゴリー：

地域の素材を生かしたナチュラルスキンケアブランド

地域の素材を生かした、 携帯用ハンドバーム

※航海図の使い方を示すために設定した、架空のケースです。



この記入例から分かること

最初に渡された依頼

地域素材を、
どう見せるか。

地域の自然素材を使った、新しい
ハンドバームを開発したい。自然由来
であることと、素材の背景が伝わる
パッケージにしたい。

立て直した問い

忙しい人の十秒を、
どう変えるか。

自分のことを後回しにしてしまう一日の途中で、
手に触れるわずかな時間を、自分に戻る時間へ
変えられないか。

役割の変化

地域素材を主役として語るのではなく、自然の気配に触れ、
自分へ戻る時間を支えるものとして位置づける。

その他、 さらに確かめること

- どのような場面で、最も手肌の乾燥を感じるのか。
- 香りは気分転換になるのか、それとも仕事上の妨げになるのか。
- 容器を開けてから塗り終えるまで、どの程度の手間なら習慣にできるのか。
- 地域素材の背景を、使用する人はどこまで知りたいのか。

航海図 | ブリーフ・テンプレート

良いデザインは、良いブリーフから生まれる。ブリーフとは、目的地と現在地、そこへ向かう経路を示す航海図だ。この一枚を、いま取り組んでいる仕事やプロジェクトで埋めてみてほしい。すべてを埋める必要はない。この航海図は、埋まらない場所を見つけるためのものだ。埋まったところは、すでに慮りが届いている場所。埋まらないところが、これから問いを立て、確かめるべき場所だ。

プロジェクト名	記入者	記入日	更新日
地域の素材を生かした、携帯用ハンドバーム			

一つの項目につき、一行を目安に。きれいな言葉でなくて構いません。自分たちが本当にそう思える言葉で書いてください。

01 誰のために 向き合う相手を、属性ではなく、一人の人間として捉える。 どんな一日を送り、何に心が動くか。	仕事や家事の合間に何度も手を洗い、乾燥に気づいていても、自分のケアを後回しにしてしまう人。	
02 何のために この取り組みで、何を变えたいのか。 目的を、一つに絞る。	手肌を保湿するだけでなく、一日の途中で自分をいたわる、小さな習慣をつくる。	
03 何が問題なのか その人はいま、何に困り、どこで立ち止まっているのか。 組織の都合ではなく、その人の側から書く。	ケア用品を持っけていても、忙しい時ほど使う余裕がなく、手肌の乾燥も、自分の気持ちも置き去りになっている。	
TNT— Truth / Need / Tension（人を理解する、三つの問い）		
04 Truth（真実） その人の生活や仕事の中にある、 変わりにくい事実や感情は何か。 手に触れる感触や、 ほのかな香りは、 短い時間でも気持ちを 切り替えるきっかけになる。	05 Need（ニーズ） その人が、まだ満たせていない望みは何か。 表面的な要望ではなく、その奥を見る。 時間をかけなくても、 自分を大切にできたと思える、 小さな実感がほしい。	06 Tension（緊張） 「本当は〇〇したい。 けれど、現実には〇〇だ」を、一文で。 本当は、自分の手も気持ちも いたわりたい。けれど、忙しい 一日の中では、そのわずかな 時間さえ後回しになる。
07 届けるものが果たす役割 商品、サービス、メッセージ、場所、制度、取り組みなど。 届けるものは、その人にとって、どんな役割を果たすか。	乾燥を防ぐ道具であると同時に、忙しさから一度離れ、 自分に戻るための小さなスイッチになる。	
08 表現の幅 答えを一つに決めず、機能や手ざわりに近い方向から、 情緒や気分寄り添う方向まで、表現が動ける幅を示す。	素材の由来や使いやすさを誠実に伝える方向から、触感や香り、 余白によって静かな時間を感じさせる方向まで。	
09 作り手への問い この人のために、何を变え、何を形にするか。 最後に、一つの問いとして渡す。	手に取ってから塗り終えるまでの十秒を、自分に戻る時間として、 どう形にするか。	

補助項目 / 必要に応じて確かめること

成功のしるし 何が起きたら、この取り組みは成功したと言えるか。 外出先や仕事の合間にも自然に使われ、 保湿効果だけでなく、 「気持ちを切り替えられる」と感じてもらえること。	守るべきこと 守るべき条件、変えてはいけないものは何か。 地域素材を装飾的な物語として消費しない。 素材の産地や生産者との関係を、 誠実に伝えること。
---	--

空欄は、失敗ではありません。
次に深めるべき場所を教えてください、地図のしるしです。

自己利用・自社の単一プロジェクトでは、許可なく利用できません。複数案件、組織導入、研修、第三者へのサービス提供には、TADへの事前相談と許諾が必要です。

© 2026 Tetsuya Takenomata. All rights reserved. | 企画・提供: TAKENOMATA ART & DESIGN (TAD)